

報道関係者各位

2018年4月23日(月)

たる研通信 vol. 57

～ ドクターシーラボ『顔のたるみ研究所』がお届けするニュースレターです ～



たるみはコラーゲンで解消できる！ ～医師が明かす、コラーゲンの可能性～<後編>

誰もが一度は耳にしたことがある、なじみ深い美容成分「コラーゲン」。肌のハリや弾力を司り、エイジングケアには欠かせない成分です。しかし、加齢によって肌のコラーゲン産生力は衰えるため、量が減少。コラーゲンはハリや弾力を司る成分であるため、量が減少するとたるみの原因になってしまいます。今回はそのコラーゲンの種類と効果的な取り入れ方をご紹介します。コラーゲンを味方につけて、ピンツとハリのある美肌を手に入れましょう！

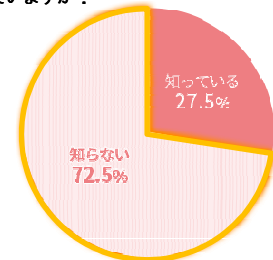
アンケート調査結果

(調査概要: WEBアンケート調査 / 20～59歳女性 432名 / 調査期間: 2018年3月14日(水)～15日(木))

■7割以上の方が分子の大きさによる効果の違いを知らない！

まず、コラーゲン分子の大きさによって、その効果が異なることを知っているか尋ねると、7割以上の方が「知らない」と回答。コラーゲンは、**分子が大きいものは肌の外側に作用し、一方小さいものは肌内部まで浸透**します。スキンケアに効果的に取り入れるためには、分子それぞれの大きさとその効果について知ることが大切です。

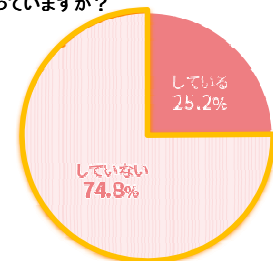
Q1.コラーゲン分子の大きさによって効果が異なることを知っていますか？ (n=432)



■効果を知りながら7割以上がスキンケアに生かしていない！

Q1でコラーゲン分子の大きさで効果が異なることを「知っている」と答えた人に、肌悩みに合わせてその大きさを意識したスキンケアを行っているかを調査しました。その結果、**7割以上の方が効果の違いを知りつつも日頃のスキンケアに反映していない**ということが判明。効果が異なることは知っていても、それに応じてスキンケアアイテムを変えることはなかなかハードルが高いことなのかもしれません。

Q2.肌悩みに合ったコラーゲンの大きさを意識してスキンケアを行っていますか？ (n=119)



コラーゲンを味方につけて、弾力のある肌へ！

コラーゲンとは

コラーゲンの3つの主なはたらき

1. 肌を支え、内側から弾む肌へ整える

コラーゲンは真皮全体を支える支柱のような役割を担っています。

2. 弾力のもと、線維芽細胞の増殖をサポート

「コラーゲン」や、弾力をサポートする「エラスチン」、肌のうるおいを保つ「ヒアルロン酸」その全てを産生する「線維芽細胞」の増殖をサポートし、ハリ・弾力を生み出す。

3. 若々しい肌に欠かせないうるおいを保つ

コラーゲンが真皮の支柱としての役割を果たすことでヒアルロン酸が存在しやすくなり、肌のうるおいを保ちます。

コラーゲンの大きさとその効果

化粧品に含まれるコラーゲンの大きさによって肌の作用は変わります。分子の大きいものは肌表面に作用する化粧品に、分子の小さいものは浸透力が高いため肌内部で働かせたい化粧品に、と使い分けられています。世の中には化粧水や美容液など様々な種類の化粧品がありますが、この**分子サイズの効果的な使い分けが、高いスキンケア効果を生み出す**のです。



コラーゲンについて、詳しくはコチラ▼

たるみはコラーゲンで解消できる！～医師が明かす、コラーゲンの可能性～<前編>

<http://www.tarumi-labo.com/special/3359/>

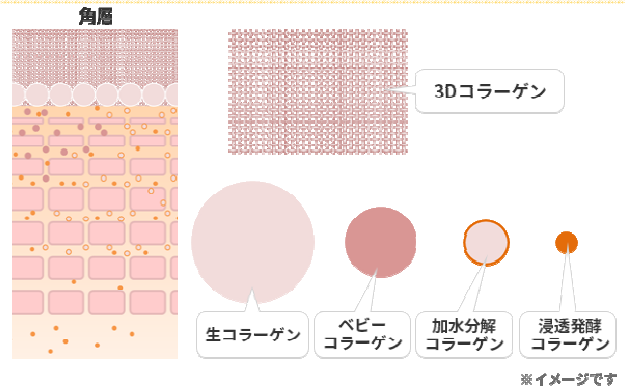
大注目のコラーゲンとは！？最先端コラーゲンで効果的に美肌を手に入れる方法とは▼

世界初！大注目コラーゲンは“●●”させたコラーゲン！

最先端の“●●”させたコラーゲンとは

これまで、「加水分解コラーゲン」は、コラーゲンのなかでも分子が小さく最も浸透力が高いコラーゲンとして化粧品に配合されてきましたが、実は近年、それよりさらに小さく、**世界で初めて化粧品への配合に成功したコラーゲン**があるんです！それは、「**発酵**」させたコラーゲン。その名も「**浸透発酵コラーゲン**」。

健康に良いと話題の“発酵”は、化粧品原料業界も大注目。この浸透発酵コラーゲンは、発酵技術により、**コラーゲンの潜在能力を最大まで高めたコラーゲンの極み**といっても過言ではない美容成分です。右図は、化粧品に配合されることの多い主なコラーゲンの大きさと浸透の様子を表しています。浸透発酵コラーゲンは肌の奥までしっかりと浸透していることがわかります。

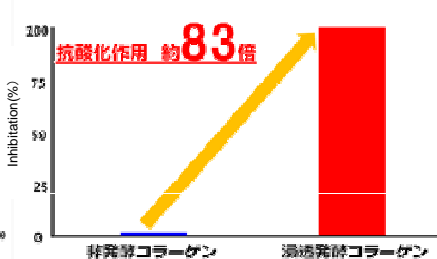
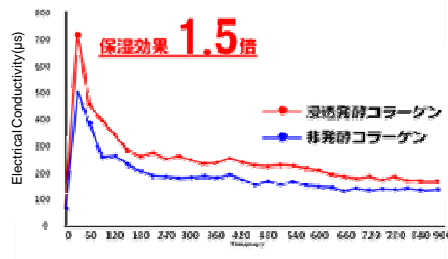


※イメージです

驚くべき浸透発酵コラーゲンの効果

肌の奥までしっかりと浸透するため、塗布直後の「**保湿力**」は**1.5倍**、さらにコラーゲンでありながら「**抗酸化力**」を生み出し、その力は**従来のコラーゲンの83倍**にまで向上。コラーゲンを菌が発酵し、それによって得られる栄養分で肌本来が持つ力を引き出します。肌トラブルの大敵・乾燥を防ぐ「**保湿作用**」、たるみの原因となる活性酸素を抑制する「**抗酸化作用**」で、**内側から湧き上がるような弾力を与えてくれる**のです。

また、最新の研究では、「**コラーゲン産生促進力**」、つまり**コラーゲンがコラーゲンそのものを生み出す力**が確認されました。さらに、シミのもととなるメラニン生成を促進させるチロシナーゼという酵素の活性を阻害する作用が確認され、**コラーゲンでありながら「美白」のケア(シミの予防)ができる**という研究結果も明らかになっています。



まとめ

浸透発酵コラーゲンと、その驚異的な力

★浸透発酵コラーゲンは、加水分解コラーゲンを「乳酸桿菌」・「コウジ菌」で分解したコラーゲンのこと

圧倒的な「**浸透力**」・高い「**保湿力**」と驚きの「**抗酸化力**」・かつてない「**コラーゲン産生促進力**」「**美白力**」の効果が確認されています。

コラーゲンの効果的な取り入れ方

自宅でのスキンケア



乾燥が気になる時には肌からの水分蒸散を防ぐために表面にヴェールをつくる分子の大きいコラーゲンを。一方、ほうれい線やたるんだフェイスラインなど、ハリや弾力を司る真皮にアプローチする必要がある根深い悩みには、しっかりと浸透して吸収される分子の小さいコラーゲンを選ぶことが重要です。最近では大きさの異なるコラーゲンを組み合わせ、肌表面から深部に至るそれぞれの段階で働くよう設計された優れたアイテムもあります。



ビタミンCを豊富に含んだ化粧水などと併用することで、さらにハリのある肌へと導きます。ビタミンCが本来もつ**抗酸化作用で細胞のアンチエイジング**に働きかけるだけでなく、**コラーゲンの生成量増大に**関与しているため、**コラーゲンの産生量をさらに増やし**、より効果的に肌のハリ・弾力を生み出すことができます。

※こちらの特集詳細は、「顔のたるみ研究所」へ！
<http://www.tarumi-labo.com/special/3443/>

顔のたるみ研究所

お問い合わせ先：(株)ドクターシーラボ 宣伝部 広報グループ
TEL:03-6419-2508(直通) FAX:03-6419-2550 info@tarumi-labo.com
顔のたるみ研究所担当：高江洲(たかえす)・伊尾知(いおち)